

令和2年度

宇都宮大学共同教育学部推薦入試 I (A) 試験問題

小論文

共同教育学部学校教育教員養成課程芸術・生活・健康系家政分野

令和元年 11 月 20 日 (水)

午前 9 時 ～ 午前 10 時

[注意事項]

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この冊子には、問題が一つある。乱丁、落丁、印刷不鮮明等の箇所があった場合には、申し出ること。
4. 解答用紙は、1 枚ある。解答は、必ず所定の解答欄に記入すること。
所定の欄以外に記入したものは無効になることがあるので、注意すること。

問題

ESD は Education for Sustainable Development の略で、「持続可能な開発のための教育」と訳されています。日本ユネスコ国内委員会は ESD を以下のように説明しています。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESD とは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESD は持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。(注)

こうした理念のもと、日本でも教育全体で ESD の取り組みが進められていますが、家庭科ではどのような取り組みが可能でしょうか。あなたの考えを 800 字以内で述べてください。

注) 引用元: 文部科学省 <http://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm> (2019 年 11 月 4 日)